

移動交番車配備事業

6月補正予算額 76,636千円

1 事業の目的・概要

依然として跡を絶たない「電話 d e 詐欺」、通学路等における子どもの見守り活動の強化、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う対応等の喫緊の課題に対処し、犯罪抑止力の強化により県民の安心感を醸成するとともに、県民の防犯意識向上による地域防犯力のさらなる強化を図るため、移動交番車の増車と専従警察官の配置を行います。

2 事業内容

平成29年度からの2か年で、移動交番車の配備が現状1台となっている警察署のうち、刑法犯認知件数の上位10警察署に新たに各1台を追加配備し、県内60台体制とします。

	第Ⅰ期	第Ⅱ期	第Ⅲ期	第Ⅳ期	第Ⅴ期	第Ⅵ期
運用開始	H22.3	H23.4	H24.4	H25.1	H30.4 (予定)	H31.4 (予定)
配備台数	15台	10台	13台	12台	5台	5台
配備署	千葉中央、千葉西、千葉北、八千代、船橋、船橋東、市川、松戸、野田、柏、佐倉、四街道、印西、東金、市原	千葉東、千葉南、習志野、行徳、浦安、松戸東、流山、成田、茂原、木更津	鎌ヶ谷、我孫子、香取、銚子、旭、匝瑳、山武、いすみ、勝浦、君津、富津、館山、鴨川	千葉中央、千葉西、千葉北、八千代、船橋、船橋東、市川、松戸、柏、佐倉、成田、市原	習志野、浦安、松戸東、茂原、木更津	千葉東、行徳、野田、印西、東金
専従警察官	30人	20人	26人	24人	10人	10人
移動交番相談員	15人	10人	13人	12人	5人	5人

移動交番車の活動内容

- ◎ 移動交番車には、1台あたり専従警察官2人・移動交番相談員1人が乗車し、このうち1人は女性を配置して活動します。
- ◎ 事件事故の多発地域や交番新設要望地域等において、
 - ◆ 各種届出受理や相談対応
 - ◆ 巡回パトロールや通学路等における子どもの見守り活動
 - ◆ 電話 d e 詐欺などの防犯講話
 - ◆ 高齢者等に対する交通安全指導
 等を行い、機動力を活かした「見せる・知らせる活動」を強化します。
- ◎ 東京オリンピック・パラリンピックの開催期間中(開催前も含む。)は、県内の移動交番車を一元的に運用し、競技会場周辺(幕張メッセ・一宮町釣ヶ埼海岸)や事前キャンプ地、オリンピック・パラリンピック関連イベント会場周辺への集中配備を行います。



担当課・問い合わせ先
警察本部地域課 (043-201-0110 内線 3561)

性犯罪・性暴力被害者支援事業

6月補正予算額 11,159千円

(H28当初 654千円)

1 事業目的・概要

性犯罪・性暴力被害者の方が安心して相談できるきめ細かな支援を提供するため、被害者支援団体に対する助成を行うとともに、被害者支援団体、警察、医療機関等の関係機関・団体によるネットワークを構築し、総合的な支援体制を整備します。

2 事業内容

- (1) 被害者に対する支援（ワンストップ支援センター事業費への補助） 8,712 千円
- ・電話、面接相談（電話、センター来訪による相談対応）
 - ・付添い支援（医療機関、警察、裁判所などに赴く際の付添い対応）
 - ・カウンセリング（精神科医、臨床心理士等によるカウンセリングを実施）
 - ・法律相談（民事、刑事手続に係る相談対応）
 - ・医療費助成（初診料、診断書料、緊急避妊措置費用などを助成）
- (2) 協議会等の開催 92 千円
- ・支援の円滑な運用と支援体制の充実を図る協議会
 - ・警察・医療機関等との意見交換などを行うケース会議
- (3) 広報・啓発物資の作成 1,763 千円
- ・ワンストップ支援センターの具体的な支援内容について、広報・啓発を行うためのポスターやちらし等を作成
- (4) その他 592 千円
- ・支援員の養成講座（一般県民を対象）
 - ・医師・看護師への講習

担当課・問い合わせ先

環境生活部くらし安全推進課 043-223-2294

国民保護実動訓練の実施

6月補正予算額 16,000千円
(H28当初 2,010千円)

1 目的・概要

県は、国民保護法に基づいた国民保護計画を策定し、武力攻撃や大規模テロなどの緊急事態に県民の生命や安全を守るため、国民保護措置を実施しなければならないとされています。

今年度は、大規模イベント開催時におけるテロ災害などの緊急事態に対処する能力の向上を図るため、国や関係機関と連携してテロの発生を想定した実践的な訓練を実施します。

2 内容

(1) 訓練想定

- ・大規模イベント開催時における化学剤散布テロ等の発生

(2) 訓練時期

- ・平成30年1月（予定）

(3) 訓練会場

- ・幕張メッセほか

(4) 参加機関

- ・国（内閣官房・消防庁）、県、千葉市・市消防局、県警、自衛隊、医療関係者等

(5) 訓練項目

- ・避難誘導、救助、除染、救護、被災者搬送・受入、避難所の設置・運営等

被災者の応急救護訓練



避難所運営訓練



担当課・問い合わせ先

防災危機管理部危機管理課危機管理室

(国民保護実動訓練担当) 043-223-2168

警察署等耐震改修整備事業

6月補正予算額 44,409千円
(当初予算とあわせ 183,409千円)
(H28当初 27,311千円)

1 事業の概要

「県有建築物の耐震化整備プログラム」に基づき、耐震化が必要な警察署等について、耐震改修工事を実施します。

2 事業内容

翌年度以降の耐震改修工事に向けて、警察署等3棟の設計を行います。

(1) 構造設計

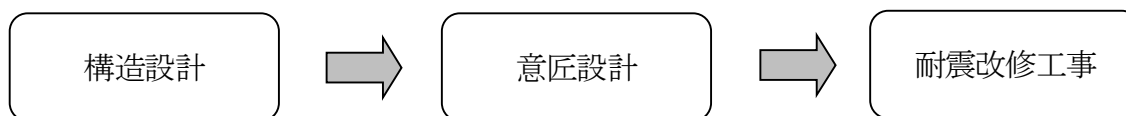
○ 都町庁舎 12,107千円

(2) 意匠設計

○ 船橋東警察署 23,304千円

○ 成田警察署 8,998千円

3 耐震改修工事の流れ



構造設計 …耐震強度の調査及び具体的な補強箇所の設計

意匠設計 …構造設計の結果に基づく改修工事の実設計

4 警察施設耐震化率の推移

年 度	H25	H26	H27	H28	H29 (見込)
耐震化率	81.5%	85.4%	87.0%	90.2%	91.8%

〔耐震改修工事のイメージ〕



担当課・問い合わせ先
警察本部会計課 (043-201-0110 内線 2211)

河川海岸津波対策事業

6月補正予算額 3,250,200千円
 (当初予算とあわせ 6,297,000千円)
 (H28当初 8,199,500千円)
 (債務負担行為 200,000千円)

1 事業の目的・概要

東日本大震災に伴う津波により甚大な被害を受けた九十九里海岸・沿岸河川において、津波対策として進めている堤防のかさ上げ等について、平成30年度の完成を目指して整備を進めます。

2 事業内容

(1) 河川津波対策事業 2,235,000千円(当初予算とあわせ2,881,000千円)

九十九里沿岸の河川において、河川を遡上した津波による浸水被害を防ぐため、河川堤防のかさ上げを行うとともに、普通河川との合流部の開口部対策として、水門等を設置します。

【実施内容】 堤防かさ上げ高 海拔+2.86m~5.4m 堤防開口部対策(水門設置)

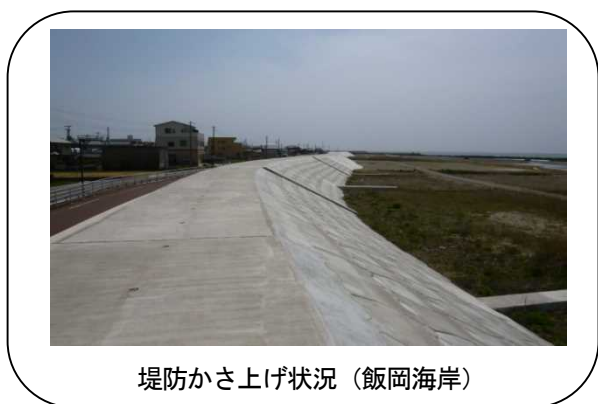


河川堤防かさ上げ状況(真亀川)

(2) 海岸津波対策事業 1,015,200千円(当初予算とあわせ3,416,000千円)

九十九里沿岸の海岸において、津波による浸水を防ぐため、海岸部への築堤や海岸保安林の整備を進めます。

【実施内容】 堤防かさ上げ高 海拔+6.0m、海岸保安林植栽工事



堤防かさ上げ状況(飯岡海岸)



海岸保安林の整備(旭市東足洗地区)

担当課・問い合わせ先	
県土整備部河川整備課	043-223-3165
農林水産部森林課	043-223-2962

農地防災事業

6月補正予算額 847,600千円

(当初予算とあわせ 2,017,000千円)

(H28当初 1,917,000千円)

1 事業の目的・概要

農地や農業用施設等の自然災害による被害を未然に防止するため、防災対策工事を行います。

2 主な事業内容

(1) 湛水防除事業 215,600千円

流域の開発、地盤沈下の立地条件の変化等により排水条件が悪化し、湛水被害のおそれのある地域を対象に、排水施設の整備を行います。



ポンプの整備



排水機場

(2) 地すべり対策事業 45,565千円

「地すべり等防止法」に基づく、地すべり防止区域において、地すべりによる被害を除去又は軽減するため、地すべり防止施設の整備を行います。

(3) ため池等整備事業 131,000千円

老朽化し、決壊等による災害の発生のおそれのある農業ため池の改修及び付帯施設の整備を行います。



堤体の築堤



築堤後

(4) 特定農業用管水路等特別対策事業 260,500千円

石綿等を含有する製品の老朽化に伴う破損等により農業者等の健康を害するおそれがあるため、石綿等が使用されている農業管水路の撤去及び変更を行います。

担当課・問い合わせ先
農林水産部耕地課
043-223-2865

治山事業

6月補正予算額 1,083,441千円
(当初予算とあわせ 2,171,335千円)
(H28当初 2,053,867千円)

1 事業の目的・概要

山崩れや地滑りによる被害を未然に防止し、災害に強い森林をつくるため、災害予防工事や保安林の整備等を行います。また、九十九里地域の津波対策として、海岸保安林の植栽工事等を行います。

2 主な事業内容

(1) 山地治山事業 58,600千円 (当初予算とあわせ 237,500千円)

山腹崩壊のおそれがある山地及び地すべり地において、土留工や水路工等の施工により未然に災害を防止する整備を行います。

(2) 復旧治山事業 88,700千円 (当初予算とあわせ 192,700千円)

山腹崩壊の発生した箇所において、法面の補強や土留工の施工により荒廃山地を復旧整備します。

(3) 保安林整備事業 913,400千円 (当初予算とあわせ 1,244,420千円)

うち津波対策分 644,200千円 (当初予算とあわせ 958,000千円)

津波による冠水や松くい虫被害等により、防風、潮害防備及び津波軽減等の機能が低下した保安林について、植栽や抜き切り等により保安林機能を復旧する整備を行います。



保安林整備事業



山地治山事業

担当課・問い合わせ先
農林水産部森林課
043-223-2962

公共土木施設等長寿命化対策事業

6月補正予算額 2,103,230千円
 (当初予算とあわせ 4,363,029千円)
 (H28当初 4,263,800千円)

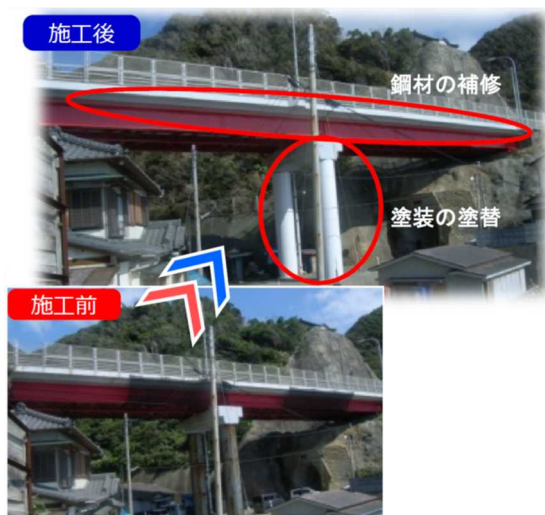
1 事業の目的・概要

道路・河川管理施設、公園などの老朽化対策、中長期的な維持管理経費の縮減のため、長寿命化計画等の策定を進めるとともに、計画的な修繕・改修を行います。

2 事業内容

- ・橋りょうの長寿命化 922,000千円(当初予算とあわせ2,400,000千円)
 点検の結果、対応が必要な橋りょうの修繕 49橋 (当初予算とあわせ83橋)
- ・河川管理施設の長寿命化 417,000千円(当初予算とあわせ 656,000千円)
 計画に基づく排水機場等の整備・更新 6箇所 (当初予算とあわせ15箇所)
- ・河川海岸砂防施設等長寿命化計画策定 162,680千円(当初予算とあわせ 232,680千円)
 ダム施設 東京湾海岸護岸、砂防関係施設の詳細点検 等
- ・港湾施設長寿命化対策事業 195,000千円(当初予算とあわせ 324,000千円)
 物揚場1箇所、岸壁2箇所 (当初予算とあわせ 物揚場1箇所、岸壁6箇所)
- ・県立都市公園施設の長寿命化 406,550千円(当初予算とあわせ 710,349千円)
 計画に基づく遊具等の修繕 12公園 (当初予算とあわせ12公園)

橋りょう長寿命化



河川管理施設長寿命化



担当課・問い合わせ先	
道路 (道路環境課)	043-223-3140
河川管理施設 (河川環境課)	043-223-3155
河川海岸砂防施設 (河川整備課)	043-223-3165
港湾 (港湾課)	043-223-3849
公園 (公園緑地課)	043-223-3995